

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	応答スペクトルによる耐震設計小委員会		主 査 名：勅使川原 正臣 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：河野 進
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>応答スペクトルと等価線形化法を利用した耐震性能評価指針・同解説のとりまとめと、その設計例の作成を行う。更に、例えば立体振動や履歴モデル（降伏点、減衰）の設定の影響などを指針に取り込む方策について検討を行う。</p> <p>初年度：設計例の検討、耐震設計、性能評価指針案の査読対応、出版準備 2 年度：今後取り組むべき課題と、ロードマップの作成 3 年度：今後取り組むべき課題のより詳細な検討、PD の開催 4 年度：今後取り組むべき課題のより詳細な検討、改定原案の作成</p>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：		
	<p>主査：勅使川原正臣（名古屋大学） 幹事：塩原等（東京大学）、楠浩一（東京大学） 委員：河野進（東京工業大学）、市之瀬 敏勝（名古屋工業大学）、加藤大介（新潟大学）、倉本 洋（エーバイシー）、前田匡樹（東北大学）、福山洋（建築研究所）、稲井栄一（山口大学）、田才晃（横浜国立大学）、壁谷澤寿海（東京大学）、平石久廣（明治大学）、北山和宏（首都大学東京）</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 応答スペクトルによる耐震性能評価指針案作成WG：指針案を作成 ・ 応答スペクトルによる耐震設計法改定案検討WG：改定案を作成 ・ 応答スペクトルによる耐震性能評価指針設計例作成WG：指針に基づく設計例を作成 ・ 応答スペクトルによる耐震性能評価WG： 応答スペクトル法における建物の応答評価方法について検討 ・ 梁柱部材性能評価WG：梁柱部材の復元力特性の設定法を作成 ・ 壁部材性能評価WG：壁部材の復元力特性の設定法作成を作成 ・ 柱梁接合部性能評価WG：柱梁接合部の復元力特性の設定法作成を作成 		
2017 年度予算	500,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 『鉄筋コンクリート造建物の等価線形化法に基づく耐震性能評価型設計指針（案）・同解説』本文案について、本会ウェブサイトに掲載し会員への意見募集を行った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 等価線形化法に基づく耐震性能評価指針本文・解説案を作成し、運営委員会、構造委員会の査読に対する対応を行った。設計例の作成・検討を行った。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 特になし